

福島第二原子力発電所原子炉格納容器内の圧力を低下させる措置（放射性物質を含む空気の一部外部への放出について）の準備について

平成 23 年 3 月 12 日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

平成 23 年 3 月 11 日、当社・福島第二原子力発電所 1～4 号機（沸騰水型、定格出力 110 万キロワット）は定格出力一定運転中のところ、東北地方太平洋沖地震により、午後 2 時 48 分、原子炉が自動停止しました。

（お知らせ済み）

現時点において、安全を確保するため、原子炉格納容器内の圧力を低下させる措置（放射性物質を含む空気の一部外部への放出）の準備を行うことといたしました。

この措置は、当所 1 号機、2 号機、3 号機、4 号機において実施することを検討しており、関係行政機関へもその旨を通報、連絡しております。

また、当社も、広報車を巡回させ、この内容について地域住民の皆さまへお知らせしてまいります。

プラントの復旧に向け、全力を尽くしてまいるとともに、引き続き、周辺環境のモニタリングを継続・監視してまいります。

以 上